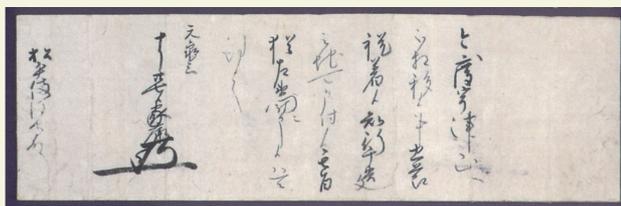


企画展 「戦国時代年表」

市内社寺所蔵の資料や竹谷松平家文書を中心に、年代に沿って市域の諸氏の動向を紹介します。

- と き 7月15日(土)～9月3日(日)
- ところ 1階特別展示室
- ★解説冊子を無料配布 (2000部)



徳川家康判物

夏休み工作スペース

厚紙を使って、オリジナルの刀、しゅりけん、いんろうを作ってみよう！

- と き 7月15日(土)～9月3日(日)
- ところ ギャラリー
- 参加費 無料
- ※申し込み不要



なつかしのおもちゃ レコード・まんがコーナー

レコードを聴きながら、懐かしいまんがを読んだり、おもちゃで遊んだりできます。

- と き 7月15日(土)～9月3日(日)
- ところ ギャラリー



竹島水族館 Aquarium ☎ 68-2059

館長の
ひやうたん



小林 龍二

「オオグソクムシ」という深海に住む水族館の人気生物がいます。その顔つきや気持ち悪さと可愛さを持ち合わせた外見から子どもから大人、女性にも人気の生き物です。深海に住んでいますがサングラスをかけたような昆虫の宇宙人顔をしており、脚がいっぱい生えています。大きな分類ではお馴染みのダンゴムシの親戚で、姿形もよく似ています。



ビクビクしてるのがバレないためにサングラスは必須!!

を受けます。しかし、生物的にはダンゴムシの方が凄くて、彼らは陸上生活に適応し、公園などの乱雑な場所でも暮らせるだけでなく、危険が迫ると名前通り団子状に丸くなることもできます。

昨今、オオグソクムシは人気で偉そうな顔をしています。実はいつその未熟さがバレるか内心ビクビクしており、公園ではダンゴムシがいじけて、やさぐれて不良化しているのです。まあまあ落ち着け、と同グループのワラジムシがなだめ、同じく同グループのフナムシは岸壁で知らぬ顔をしています。